

講演と音楽で多喜二追悼

小樽できょう、献花の催しも

プロレタリア作家小林多喜二の命日の20日、功績をしのび、無念の死を追悼する恒例の「多喜二祭」が小樽市内で開かれる。午後1時半から市内の奥沢墓地で献花の催しが、午後6時半から同市色内2丁目の小樽市民センター・マリンホールで「講演と音楽の夕べ」がある。

「講演と音楽の夕べ」では多喜二研究者の島村輝フェリス女学院大教授が、作品が完成するまでの経緯や多喜二がこだわったものを再検討する。多喜二の拷問死を題材にした井上ひさしの戯曲「組曲虐殺」の解説も。

「夕べ」は参加券1千円。問い合わせは実行委員会の斎藤さん（0134・32・8560）へ。

2011年小樽

小林多喜二没後78年

多喜二祭



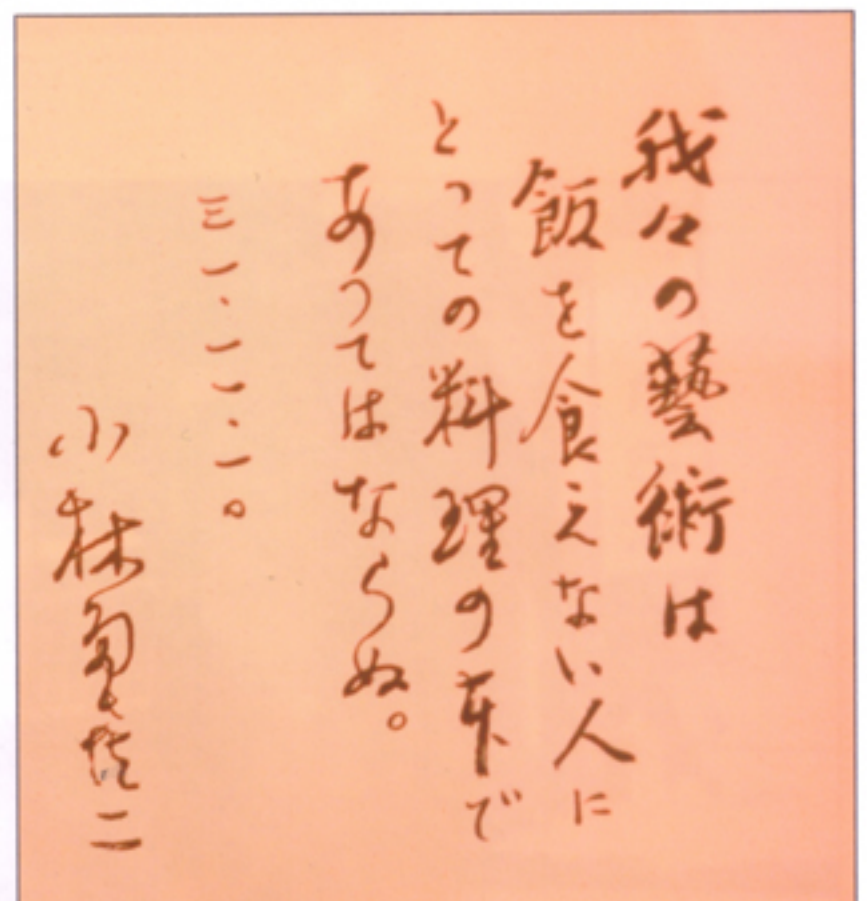
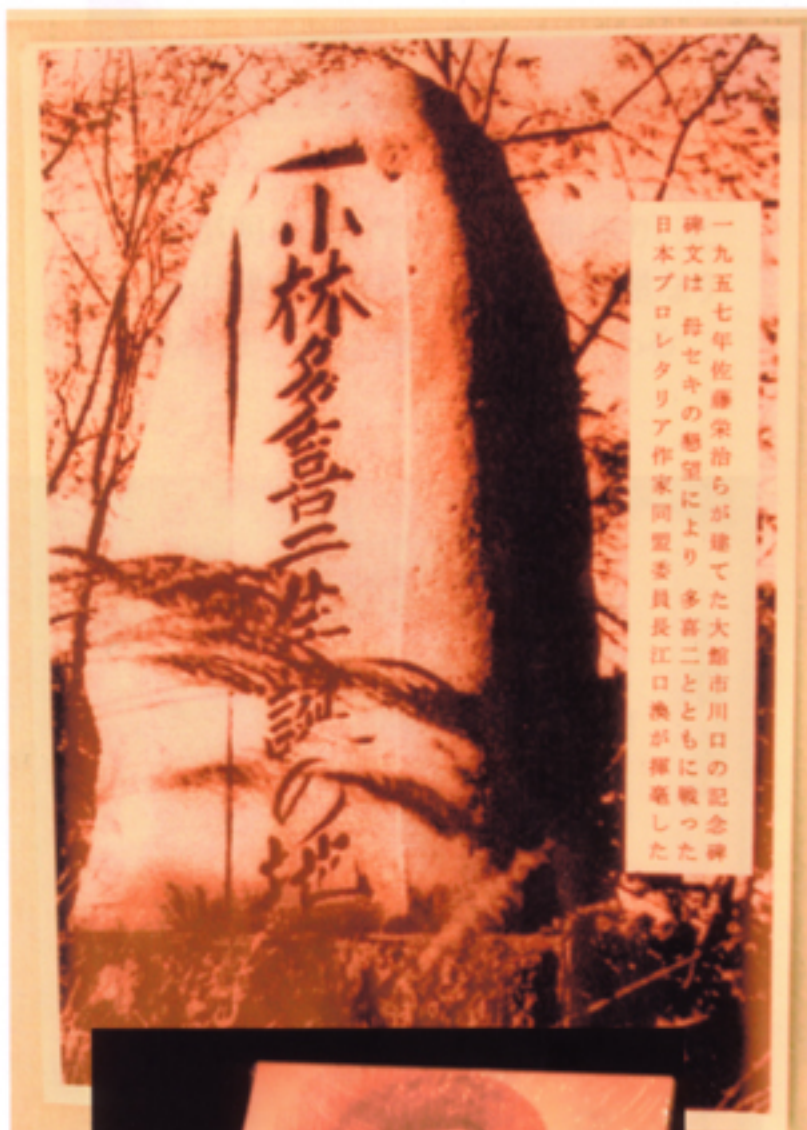
714

(株) 旅 システム 《自然・平和・歴史・文化の旅づくり》

「多喜二と啄木の小樽」特別参加

編集 写真撮影 もりたとしはる





ガイド解説の内山兄弟

